

登録コード	E8213200	開講年度	2026				
授業科目	人文地理学演習					担当教員	内山 琴絵
英文授業名	Seminar in Human Geography					副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	2～4年生
講義室	教育M304		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	25Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				人文地理学に関する調査・研究を行うための基礎的能力を獲得する（達成目標 ）		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				自らの研究成果を他者にわかるように発表することのできる能力を身につける（達成目標 ）		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本講義では、人文地理学分野に関わる文献講読と発表を行う。 地理学、特に人文地理学分野・災害研究に関わる文献（書籍、論文）を各自選定し、内容の発表を行う。 休日などを使った巡検や野外調査も実施する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：上級生による研究方針の発表 第3回：文献調査の方法 第4回：基礎的書籍の講読 第5回：都市と農村の地理に関する文献 第6回：経済地理学に関する文献 第7回：文化地理学に関する文献 第8回：歴史地理学に関する文献 第9回：行動地理学に関する文献 第10回：野外巡検（自然環境諸現象の観察） 第11回：野外巡検（社会環境諸現象の観察） 第12回：文献講読と発表 第13回：文献講読と発表 第14回：海外文献の精読、授業アンケート 課題提出						
(6)成績評価の方法	達成目標 および達成目標 の達成度について、講義での発表およびレジュメ提出(100%)により評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	課題文献の内容が解説できれば可 文献が引用する文献の内容まで含めた解説ができれば良 文献が提示する課題解決の方法まで提示できれば優 文献だけでは読み切れない応用課題まで提示できれば秀						
(8)事前事後学習の内容	一週間前までに次週発表の論文内容がpdfでまわるので、それを熟読の上問題点を考えておくこと。また演習時の論文や議論について、復習しまとめておくこと。 事前の論文選定やレジュメ作成に10時間程度、事後報告準備に6時間程度を要する。						
(9)履修上の注意	人文地理学演習 と連続して受講することがのぞましい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談は講義中・講義終了後に教室にて受け付ける。またはメールにて事前連絡の上M317にて受け付ける（uchiyama_kotoe@shinshu-u.ac.jp）。						
【教科書】	教科書は使用しない。						
【参考文献】	各回の講義に関連する参考文献・参考資料を掲載したリストを配付する。						